

島根県西部でのベーツヒラタカミキリ確認2例 (コウチュウ目：カミキリムシ科)

皆木 宏 明*

Two records of *Eurypoda batesi* Gahan of West Shimane Pref (Coleoptera : Cerambycidae)

Kohmei Minagi

島根県中西部地域でベーツヒラタカミキリ *Eurypoda batesi* Gahan (写真) を確認したので報告する。本種は、日本では関東以西に分布する暖地性の種類で、体長26-34mm。体は扁平で光沢のある赤褐色を有し、成虫は6～9月に出現する。夜行性で日中はスダジイなどの枯死部にある隙間などに潜み、夜間に立枯れ木、倒木上を徘徊するほか、灯火にも飛来する(日本鞘翅目学会編, 1995)。また幼虫はシイなどの枯死・不朽部につく。大径木の残存するシイ類などの暖帯照葉樹林に生息するが、生息環境が限定的なため、確認記録は多くない。そのため、島根県レッドデータでは本種は準絶滅危惧種に指定され(島根県, 2004)、全国でも15県でレッドデータに記載されている。

島根県東部と隠岐でこれまで記録があり、特に松江市とその周辺の人家に近い社寺林などから多く報告されている(島根県, 2004)。しかし、これまで県中西部からは近年報告のあった山本(2006)による川本町からの記録1例しか知られていない。

今回、県中西部に位置する大田市と江津市から各1例、本種を確認したので報告する。なお、本種は標本化し三瓶自然館で収蔵している。それぞれの確認例は以下のとおり。

2008年8月10日 島根県大田市富山町山中 1♀
矢田猛士 採集

大田市富山町に位置する要害山(標高299m)の中腹にある民家で確認。家屋内のサッシにとまっていたとのこと。民家の明かりに誘引された可能性が高い。周囲にはスダジイ林もあり、付近から飛来したものと思われる(写真a)。

2008年8月16日 島根県江津市渡津町
江の川高等学校敷地内 1♀
福田稔彦 採集

夜、高校の部室の明かりに飛来した個体。学校関係者が採集し当館へ持ち込まれた。学校裏は山林に面しており、スダジイ林もあるとのこと(写真b)。

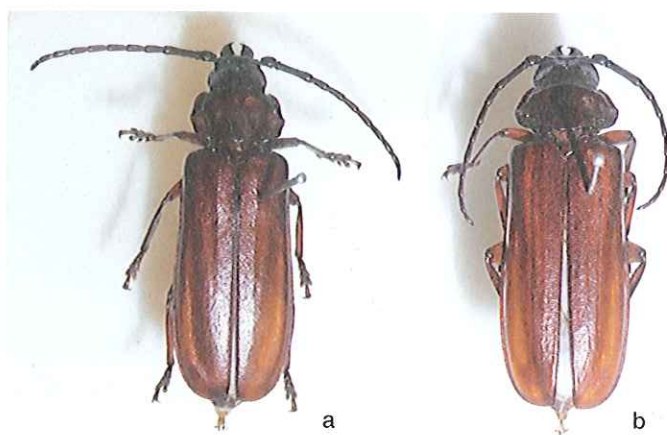


写真 ベーツヒラタカミキリ (a. 大田市富山町産 b. 江津市渡津町産)

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8, Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

本種の県内での生態に関しては、藤原(2006・2007a・2007b)に詳しく報告されている。それによると、松江市での本種の発生期は気温の影響を受けるが、概ね7月中旬～8月中旬までのほぼ1カ月間に限定され、夏の限られた時期に出現する。日中はスダジイの枯死部の羽化時の脱出孔や樹洞内で過ごし、基本的にはそこを拠点に夜間活動するという。

今回の記録はいずれも夜間、明かりに誘引されたもので、生息地は特定できないが、おそらく付近に生息に適したスダジイの大径木の照葉樹林の残された環境があるものと推定され、同様の環境が残されていれば、県中西部の他の地域でも見つかる可能性は高いと思われる。

謝 辞

標本をご恵与いただいた矢田猛士・福田稔彦の各氏には、この場をかりて厚く御礼を申し上げます。

引用文献

- 藤原淳一(2006) 島根県松江市におけるベーツヒラタカミキリの発生状況(1). 145-149. ホシザキグリーン財団研究報告.
- 藤原淳一(2007a) 島根県松江市におけるベーツヒラタカミキリの発生状況(2). 207-210. ホシザキグリーン財団研究報告.
- 藤原淳一(2007b) 島根県松江市におけるベーツヒラタカミキリの発生状況. 昆虫と自然42(11) 27-29.
- 日本鞘翅目学会編(1984) 日本産カミキリ大図鑑. 565pp. 講談社. 東京.
- 島根県(2004) 改訂版しまねレッドデータブック. 415pp.
- 山本正志(2006) 島根県邑智郡内で採集した注目すべき昆虫2種(ベーツヒラタカミキリ, クロウスタビガ). すかしば(54): 53.